

### サマワの中学 来月授業再開

国連ハビタット発表

国連人間居住計画(国連ハビタット)の野田順康駐日代表・福岡事務所長は二十八日、イラクでの国連ハビタットの活動状況について福岡市で記者会見し、日本政府支援による学校再建事業で、南部サマワの中学校一校の工事が五月上旬に完了、授業を再開すると発表した。近く十二校の再建にも着手する。

政府は今年一月、イラク復興のための緊急無償資金協力として約八百八十万ドル(約九億三千五百万円)の拠出を決定。これを受け、国連ハビタットが各都市で学校や住宅の再建事業に取り組んでいる。このうちバクタッドでは、戦争で夫を失った女性の世帯六十戸を選定し、近く住宅再建に取りかかる。

イラクでは昨年十月以降、国連機関の国際職員は周辺国に退避。国連ハビタットでは、イラク国内五都市で現地人職員十九人が活動している。野田駐日代表は、復興事業について「スムーズに進んでいるとはいえない」としながらも「米英主導から国連主導に移行しつつある」として、ごみ処理施設や孤児院の再建のため、日本政府に追加支援を要請していることを明らかにした。